

(1) 学校教育目標

横浜市立桜台小学校全体計画

学校教育目標

— 自分の思いや願いを実現しようとする子 —

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、思考力、判断力、表現力を育む。 (知)
- 自ら進んであいさつをし、しっかりと時刻・時間を守る規範意識の高い子どもを育てる。 (徳)
- 運動と食事の大切さを理解し、健康でたくましい体をつくろうとする子どもを育てる。 (体)
- 地域社会に学び愛着をもち、社会の一員として自分のできることを考え、実践する子どもを育てる。 (公)
- 身近な人・物・ことに関心をもち、豊かなコミュニケーションを通して視野を広げられる子どもを育てる。 (開)

学校教育目標を実現するための具体的な目標

知

- 「わかる授業」「楽しい授業」「魅力的な授業」の実現を目指す。
- ICT機器を有効に活用して視覚に訴えた学習を展開する。
- 特別支援教育の充実を図り、一人ひとりに応じた指導、支援を行う。
- 各教科等における言語活動を充実させることにより、思考力、判断力、表現力を育む。
- 重点研究を大切に、研究の成果を日々の授業にフィードバックし授業改善を図る。

徳

- 学校生活の基礎・基本である「自分から進んであいさつをする」「話をしっかりと聞く」「必要なことはきちんと話す」「時刻・時間を守る」ことの徹底を図る。
- 善悪の判断がきちんとでき、集団生活のルールをしっかりと守る規範意識の高い子どもを育てる。
- 学級目標を軸にした学級経営を行い、児童の所属感を高め、豊かな人間関係が築かれるようにする。

体

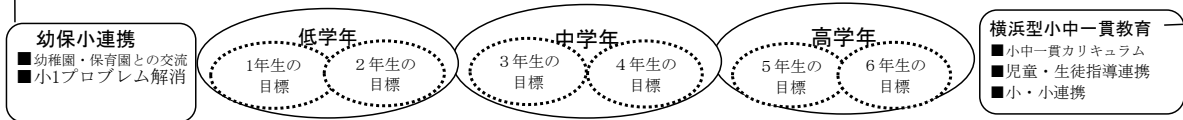
- 食事の大切さを理解し、給食を始め望ましい食習慣が確立されるようにする。
- 運動の大切さを理解し、休み時間には元気に校庭で遊ぶなど健康な体をつくれるようにする。

公

- 地域人材をゲストティーチャーとして迎え、学習に広がりや深まりをもたせる。
- ゲストティーチャー、学援隊の方々などのふれあいを深め地域の一員としての自覚を育む。

開

- 英語によるコミュニケーションを楽しみ、様々な人と上手に人間関係が結べるようにする。
- 世界の社会や文化などを知り、日本との共通点や違いを理解することにより視野を広げる。



教育活動の重点的課題

豊かな心の育成

- 人権尊重の精神を基盤とする教育の推進
「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指す。自尊感情を育み自他共に尊重できる児童を育てる。
- 「道徳の時間」の充実
内面に根ざした道徳性を涵養し、道徳的実践力の育成を図る。

健康でたくましい体の育成

- 食習慣の確立
食事の大切さを理解し、給食を始め望ましい食習慣が確立されるようにする。
- 運動習慣の確立
運動の大切さを理解し、休み時間には元気に校庭で遊ぶなど健康な体をつくれるようにする。

国語力及び学習の基盤的能力の育成

- 国語力の育成
知的活動、感性・情緒、コミュニケーションの基盤としての国語力を育成する。
- 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、それらを活用することにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。
- 言語活動の充実
言語活動を指導計画に位置付け、事象を的確に理解、論理的に思考し表現する能力を育成する。

教科等の目標

低・中・高学年別の指導の重点

コミュニケーション能力の育成

- 自己表現と他者理解の充実(言語活動の充実)
- 豊かな人間関係づくり
学級活動、学校行事等で目標に向かって協働することにより所属意識を高めると共に好ましい人間関係を築けるようにする。
- YICAの推進
積極的にコミュニケーションを楽しむとともに世界に視野を広げる。

情報社会を生き抜く能力の育成

- ICT機器の活用
ICT機器を有効に活用し、視覚に訴えた分かり易く楽しい授業が展開されるようにする。
- 情報モラル・マナーの啓発
人権を侵害することのないよう情報モラル・マナーを身に付ける。
- 情報活用能力の育成
教員のICT活用指導力を向上し、児童の情報収集・整理・発信力を高める。

社会の変化に対応する能力の育成

- 「横浜の時間」における社会の変化に対応する課題の設定
児童が自ら考え、実践しようとする能力を育成する。また、可能なものは問題解決へ向けて実践を行う。
現代的な教育課題として次のようなものが存在する。環境教育 食教育 キャリア教育(勤労観・職業観) 福祉教育 安全教育(危険予測・危機回避能力) ものづくり(緻密さへのこだわり、忍耐強さ、美しさを大切にする感性)

具体的取組

総合的な学習の時間の再構築

- 思考力、判断力、表現力を育成
- 横断的、総合的、発展的な内容
- 体験的、問題解決的、探求活動

YICAの推進

- コミュニケーション能力育成
- 国際感覚の基盤醸成
- 小中一貫英語教育の推進

読解力向上の推進

- 理解力、思考力、表現力の育成
- 全教科等において読解力向上
- 読書活動の推進、読書習慣確立

一人ひとりに応じた教育

- 授業改善による基礎・基本の習得
- 実効性ある特別支援教育の実現
- 不登校の予防、適切な対応・支援
- 関係機関との連携

地域・外部機関との連携・協力

- 地域人材・地域施設等の活用(ゲストティーチャー、地域素材の教材化)
- 学援隊による児童の安全・安心対策